

2000 年決算特別委員会 総務部 書面審査(2001, 11, 5)

光永 敦彦 (日本共産党、左京区)

【光永】 府立大学について、この間何度か訪問し、調査してきたが以下の点を聞く。

①開かれた大学として、公開講座を行い、生涯研究講座には 1000 名が参加している。その特徴と成果は。②施設整備について聞く。今回一部予算化されたが、エレベーターの設置について。昭和 30 年代に建設された校舎、一部には 25・6 年建設のものもある。設置の見通しは。合同講義棟にクーラーの設置が必要だが目途は。バリアフリーの計画は。平成 7 年 12 月の「府立大キャンパスマスタープラン」には計画整備方針が出ているが目途は。学校の情報公開とネットワーク化は。大学情報を提供するホームページを見たが、全国からアクセスがあるようだが状況は。府立図書館などとのネットワークが必要ではないか。

【府立医大学長】 公開講座は三百数十名が春秋に参加している。リカレントには 20 名前後が 7 月から 10 月にかけて学習。演習林ウオッチングに 40 名。その他農場での体験学習など、地域学術交流センターで案内している。施設については、昨年から旧 1 号館改修、来年 1 月には完成。新規工事はバリアフリーを大前提にしている。合同講義棟のクーラーは調査費がついたので現在検討中。文系演習室も検討中。情報公開は大学院を含めて充実したものに努力している。ホームページの書き込み自由の「掲示板」は全国の大学で唯一のもの。全国からのアクセスある。問い合わせへの返事も努力して更新してもらっている。府内の図書館とのネットワーク化の最大の問題は蔵書の遡及入力ができていること。約 33 万冊あるが入力は 3 万 9 千冊。

【光永】 全国的に見ても整備が遅れているのではないか。府立大の建学の精神は「府民に開かれたものに」だ。施設整備を急いでいただきたい。

【府立大学長】 1949 年前後につくられた公立大学は、府立大もそうだが全国的に大きく遅れている。最近つくられた大学はもちろんそんなことはない。

2000 年度決算特別委員会 議会 書面審査 (2001, 11, 16)

光永 敦彦 (日本共産党・左京区)

議会建物のバリアフリーについて

【光永】 議会などの傍聴が流れとして広がっていることは、喜ばしいことだと思う。本会議なども含めて多くの方が傍聴に見えた場合、建物のバリアフリー化に向けた改良が必要かと考える。先の議会でも、請願に来られた方が電動車いすで、エレベーターから階段を何段か担いでというのは結構大変で、わざわざ遠回りをして来られたことがあった。バリアフリーなどの検討はないのか、お考えをお聞かせいただきたい。

【事務局長】 議会棟は、昭和44年に建設されたもので、その後、順次スロープや階段に昇降機をつけたり、トイレの整備などをおこなってきた。今後、広く府民に開かれた施設として、建物の構造上の制約もあるが、可能な範囲でバリアフリー化の取り組みを進めていく。